

事業番号	04 05 02	事業改善シート (28年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	河北省友好提携事業				担当課	部局	県民文化部	
						課・局・室	国際課	
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	kokusai@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開	2-2 協働、人権尊重、男女共同参画社会の実現	4 国際化の推進		実施期間	S58 ~		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	6-4 大都市・海外との未来志向の連携						
	施策展開	4-(2) 信州に根付くつながりの継承 (ウ) 文化・芸術・スポーツ活動等による地域の活性化						

## 1 事業の概要

目指す姿	<p>○河北省と締結した友好提携協定に基づき、経済、教育、文化等の広い分野において交流と協力をを行い、友好関係を発展させる。</p> <p>○首脳レベルの相互訪問により交流を推進する。</p> <p>○友好提携に沿って青少年相互交流事業等を実施し、友好関係の発展を図る。</p> <p>○青少年交流を一層推進するため、インターンシップ制度を活用して、県内企業が中国大学生インターンシップを積極的に受入れる。</p>		
現状 (予算編成時)	<p>○5年ごとの友好提携周年事業を実施。平成27年1月末に河北省長を代表とする訪問団を受け入れ。当該30周年事業において、新たな交流に関する覚書を「冬季スポーツ」、「医療・介護」、「環境」及び「観光」分野で締結。</p> <p>○河北省からの青少年受入れと河北省への青少年派遣は、日中国家間関係に影響される懸念がある。</p> <p>○H27年度は中国大学生インターンシップを、県国際課1名を含め県全体で118名受け入れる予定。</p>		
県が関与する理由	<p>県関与の必要性あり</p> <p>県民との協働による実施： 実施中</p>	<p>【左記の説明、根拠法令等】</p> <p>○友好提携の当事者であること。</p>	

成果目標・事業内容	① 成果目標 (H28)						
	<p>○青少年の河北省からの受入れと河北省への派遣を実現する。(過去10年間の実績 平均 受入6.2 派遣3.7)</p> <p>○県国際課に1名のインターンシップを受入るとともに、前年度を上回るインターンシップ生の受入れを推進する。(H27~ 1名)</p>						
	② 事業内容 (単位:千円)						
		項目	実施方法	H28事業実績		H28 (当初)	H28 (決算)
	河北省友好提携事業	直接	河北省との電話連絡等		39	39	39
	青少年相互交流事業	負担金	県から河北省へ、青年3名を派遣した 負担先(長野県・河北省青少年相互交流事業実行委員会)		600	600	600
	中国大学生インターンシップ活用事業	直接	河北省から1名受入れた		483	483	483
	合計				1,122	1,122	1,122

事業コスト	区分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況							
	予算額	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28		H29 目標	
		当初予算	2,222	1,122	1,122				目標	成果		達成状況
		補正予算				青少年派遣	0人	0人	10人	3人	未達成	10人
		合計(A)	2,222	1,122	1,122				青少年受入	0人	0人	10人
	Aの財源	一般財源	2,222	1,122	1,122	インターンシップ受入	1人	1人	1人	1人	達成	1人
		県債										
		国庫支出金										
		その他	0	0	0							
	ト	決算額(B)	1,530	1,122								
概算人件費	職員数(人)	0.66	0.66	0.66								
	概算人件費(C)	5,462	5,223	5,223								
	概算事業費(B(A)+C)	6,992	6,345	6,345								

目標に対する成果の状況	<p>日中関係の悪化等を背景に平成24年度の受入を最後に途絶えていた青少年の相互交流であったが、平成27年度の知事河北省訪問における、更なる交流の深化についての同意や民間レベルでの地道な交流の継続の成果として、今年度事業の再開が実現した。派遣人数は3人で目標を下回ったが、数年にわたり事業が中断していたため学校側の理解・協力をなかなか得られなかったこと、11月という時期設定が多くの参加者を集めることを難しくしたと思われる。また、受入れについては2月の実施を予定し、当初10名派遣予定と河川省から報告を受けていたが、11月になって学校行事の都合で派遣できなくなったと連絡があり、その後も日程の調整を図ったが、最終的に今年度の受入れは中止になった。</p> <p>将来にわたる未来志向のためにも、次代を担う青少年の相互理解は変わらず重要。</p>
-------------	--

## 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<p><input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施</p> <p>長野県と河北省との青少年交流が変わらず重要であることは双方とも合意しており、さらに長野県知事及び河北省長との覚書として今後進めていく「冬季スポーツ」や「観光」等の交流分野においても、将来を担う青少年の交流はその基礎となるもので、引き続き適切な時期に実施をしていきたい。29年度の青少年交流は相互に参加しやすい夏に実施することとし、参加募集も今年度より長い期間を確保し、また周知の方法も工夫し、10名の参加者を確保したい。</p>
--------------------	--